



ともに歩む

No.7



香翠寮盆踊り大会
(平成14年8月30日(金))



いちかわ園ふれあい感謝のつどい

(平成14年9月7日(土))

社会福祉法人 中播福社会

法人事務局 兵庫県神崎郡香寺町土師 365 番地 1
TEL. 0792 - 32 - 6151
FAX. 0792 - 32 - 7250

地域の人の声

書道を通して

書道ボランティア

碁盤 義郎

知的障害者施設香翠寮を外から見ると、寮生は集団生活をしながら草花の栽培や木工品作りに専念しているだけだと思っていました。

ボランティア活動を通じて、香翠寮の内面に触れると、大きな違いがあるのに気付きました。寮生全員が新幹線や飛行機で旅行したり、又バスで近くのスーパーやデパートへ買物に行った事など、書道の時間にその時の様子をこ細かに話してくれました。また、郡内のボランティアグループによる色々な行事に参加し、恵まれ、充実した生活を送っています。

私が香翠寮でボランティアを始めてから、随分歳月が経過しました。その間寮生の腕がどれほど上達したかと聞かれると、返事に戸惑いを覚えます。健康者でも年月が長くなると、そのうち脱落者があるのも不思議ではありません。むしろそれが普通であります。しかし、寮生は最初から一人の脱落者もなく、ここまで続けられたことに思いをはせると、大勢の方々のご理解とご協力があり、又色々な配慮がありました。しかし、雰囲気

気や環境が変わっても練習意欲は落ち着いて変わりはありません。毎回の練習は一時間程度で、その日の稽古は次回に持ち越さずに、その日に清書して仕上げています。時間的に少し忙しいということもありますが、一生懸命稽古をし、そろそろ時間の終わりが近づくと早い人は作品の清書を出す、遅い人は清書中、早く清書ができた人も静かに待って、せきたてる人も友達をいらだたせるような行為は無く、最後に反省を兼ねて全員の作品を見終わるまで、落ち着いて聞く寮生一人一人の心の広さと、友達に対して非常に寛大であることに感銘いたします。



され秩序が良く守られて、寮生の皆さんは楽しく充実した生活を送られているように思います。最後に、この地域にお住いのすべての知的障害者の方々が安心して生活できる地域づくりと香翠寮の益々の発展を祈念するものであります。

園生と共に

多田 あい

三十年以上勤めた教職を辞めた後、さてこれから何をやるべきかと考えました。職業生活からの引退を迎え、今後の人生もさらに充実したものにするにはどうすればよいかという課題が現れてきたのです。社会のお役にもたち、自分自身が最後に「良かった」と思えるような何かがないだろうか。そんなことを考えているとき、ふと、いちかわ園のことが心にとまりました。

園は知的障害のある方の通所施設で、私の自宅から目と鼻の先にあります。園長先生を存じ上げていましたので、思いきって園でボランティア活動をさせていただけないかというお話にうかがいました。園では私の申し出を快く受けてくださいました。

園生と共に生活して

藤田 幾男

いちかわ園ゆめさき分園が開園して数年が経過した今日、分園を支え園生達を励ますにはどうすればよいのだろうか。縁あって時々分園を訪ねて園生達と話をしたり、作業を共にやりながら感じる事は、「二歩進んで二歩退る」ことの繰り返し

ながらも彼らは確実に成長し、自立に向かつて努力している姿である。

園生十五名という適切集団で生活をし、その陰には指導者の辛抱強い反復指導と、それを後方から力強い保護者会の支援活動があるからだと思う。指導者と保護者会とが両輪となって園の年間計画を立て、着実に推進されておられる。

また、地元の区長さんの園に對するご理解も深く、「地元で、できることがあれば」と、何時も気に掛けて下さるのも心強い限りである。

近隣にある中学校の「トライやる・ウィーク」を通して中学生との交流も園生にとって良き体験であり、中学生にも福祉に對する考え方を知っていただく場ともなっている。

分園の今後の発展充実を願う一人として、一般の人々のご理解とご協力をどう進めていくかである。

「時間があれば」でなく「時間をとって」、「見て見ぬふり」でなく「進んで参加して」、「むつかしく考えないで気軽に仲間として」。

一人でも、二人でも、園生たちと共に生活してみてください。きっと考えさせられます。

平成15年4月から 新しい障害者福祉制度

支援費制度がはじまります。

「知的障害」または「身体障害」のある皆さんが、施設利用やショートステイなどの居宅サービスを利用されるときの申し込みの仕方が変わります。

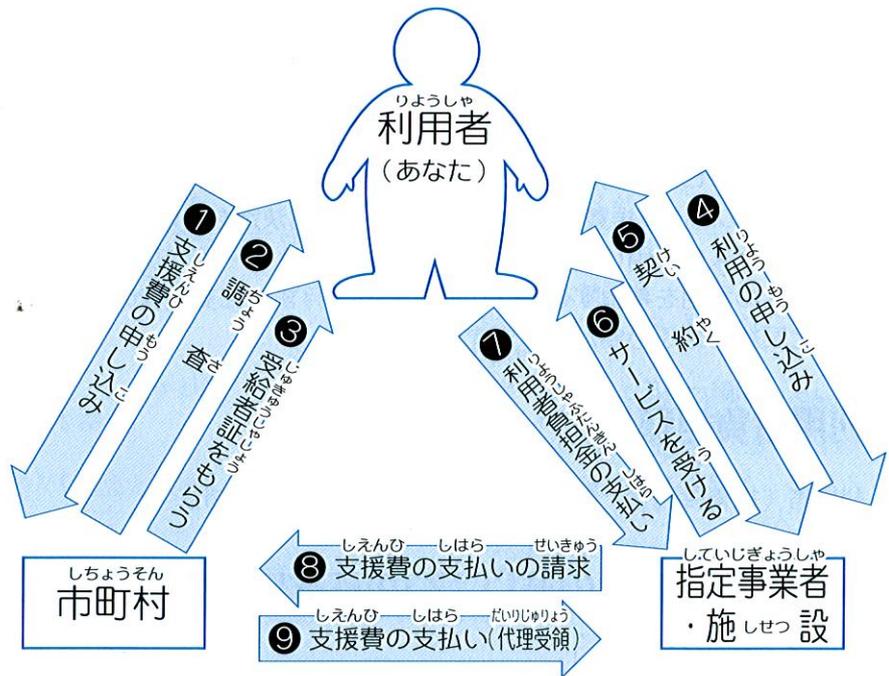
現在の【措置制度】では、誰がどの施設や事業所で、どのようなサービスを利用するのかを行政が決めていきます。

新たな【支援費制度】では、利用者である障害のある人が、施設や事業者との対等な立場から、どのサービスを利用するか、どの施設・事業者を利用するかを選択し契約をかわしてサービスを利用することになります。

施設や事業者は、利用者の選択に十分応えることができるよう、サービスにいつその質の向上が求められます。

サービス利用が決まったら申し込みをします (支援費制度利用の流れ)

- 役場(市町村)に行って、施設サービスや居宅サービスの利用について支援費支給を希望する人は、申し込みをします。
- 役場(市町村)の人が調査・審査をします。
- 役場(市町村)は、利用者の希望するサービスへの支援費の支給が適切であれば、支給の決定をして、受給者証をお渡しします。
- 受給者証を持って、利用したい施設や事業者に行き、利用の申し込みをします。
- サービスの内容をよく聞いて、その内容でよいと思ったら契約をします。
- 契約した施設や事業者からサービスを受けます。
- サービスを受けた施設や事業者にお金(利用者負担金)を払います。
- 施設や事業者が、利用者に代わって、役場(市町村)に支援費の支払いの請求をします。
- 役場(市町村)は、請求が正しいかどうかを審査して、施設や事業者に支援費を支払います。(代理受領といいます)



支援費の対象となるサービス

…次のサービスは、利用の前に支援費の支給申請が必要になります。

◇**居宅支援**
(知的障害者・身体障害者・障害児)

- ・居宅介護(ホームヘルプ)
- ・デイサービス
- ・短期入所(ショートステイ)
- ・グループホーム(知的障害者のみ)

◇**施設支援**
(知的障害者)

- ・知的障害者施設への入所・通所
- ・知的障害者更生施設
- ・知的障害者授産施設
- ・知的障害者通所療養

◇**施設支援**
(身体障害者)

- ・身体障害者施設への入所・通所
- ・身体障害者更生施設
- ・身体障害者療護施設
- ・身体障害者授産施設

支援費に移行しないサービス

次のサービスの利用は今まで通りですので、支援費の支給申請は不要です。

- 障害児施設（18 歳未満）への入所・通所。（ショートステイを除く）
- 小規模作業所や小規模通所授産施設への通所。
- 補装具、日常生活用具、更生医療、育成医療の交付・支給。
- 住宅改造費、自動車改造費、リフトバス使用料などの助成。
- 手話奉仕員の派遣 など



支援費の申請は「平成 14 年度後半」から役場（市町村）で受付が始まります

平成 15 年 4 月以降の「居宅支援サービス」の利用につきましては、平成 14 年度後半から支援費の支給申請の受付が始まることになっています。現在、各市町村において、申請開始に向けて準備中であり、申請方法等が決まりましたら「市町村の広報」などを通じてお知らせがあります。

現在施設サービスや居宅サービスを利用している人はどうなるの？

現在施設サービスを利用している人は、支援費制度が始まってから 1 年間はそのままサービスが受けられますが、1 年の間に支援費の支給の申請をして支給決定を受ける必要があります。

居宅サービスを利用している人については、施設サービスのような経過措置は設けられていません。続けてサービスの利用を希望する人は、平成 15 年 3 月までに支援費の支給申請を行い、支給決定を受けてから、事業者と契約を結ぶ必要があります。

利用者負担額は？

利用者（扶養義務者）の負担能力に応じて決定されます。

情報収集・相談の窓口（わからないときは相談窓口へ）

- ・役場（市町村）の窓口
- ・市町村障害者生活支援事業の窓口
- ・障害児（者）地域療育等支援事業の窓口
- ・知的障害者相談員
- ・身体障害者相談員等



中播福社会香翠寮は、上記の障害児（者）地域療育等支援事業を県の指定を受けて実施しております。情報収集・相談の窓口としてご利用ください。

なお、いちかわ園・いちかわ園ゆめさき分園でも受け付けます。

香 翠 寮

〒 679-2163
兵庫県神崎郡香寺町土師 365-1
☎ 0792 - 32 - 6151
FAX 0792 - 32 - 7250

い ち かわ 園

〒 679-2315
兵庫県神崎郡市川町西川辺 462-1
☎ 0790 - 26 - 2184
FAX 0790 - 26 - 2572

いちかわ園ゆめさき分園

〒 671-2103
兵庫県飾磨郡夢前町前之庄 2203-1
☎ 07933 - 7 - 5037
FAX 07933 - 6 - 0426

法人施設地域関連の主な出来事

香 翠 寮

4/21 香寺町菜の花まつりバザー参加

香寺町の村おこし行事の一つでもあり、バザー参加しました。当日利用者は、地域の方の手作り弁当・焼き芋・餅等を頂きました。

5/12 福崎太鼓演奏招待

5/14 市川町民生委員作業奉仕

5/18 香翠寮まつり

寮の自主生産品の花の苗を中心に、即売会を実施しました。市価の半値程度の値段でもあり、当日は300名程度の方が来られました。

7/8 神崎郡5町母子保健師施設見学

母子保健の充実のため、ケアステーションかんどき保健師連絡会の皆さんが施設見学に来られました。療育等支援施設事業等の情報交換ができ、これからの在宅福祉のネットワーク作りにつなげていきたいと考えています。

7/26・8/22 香寺中学校生徒『草引き奉仕』

香翠寮盆踊り大会のグラウンド整備を兼ねた草引き奉仕が行われ、今年は生徒の企画により生徒と利用者

との班単位で、草の重さを競うなど楽しい交流が図られました。

8/29～8/31 近畿福祉大生4名 介護実習

8/30 香翠寮盆踊り大会

今年で23回目となり、約800名の地域の方々が来られ、沢山のボランティアの協力を得て、盆踊りの輪が出来、利用者と共に楽しく踊り過ごせました。利用者の翠太鼓と福崎太鼓が迫力ある演奏で花を添えて下さいました。過ぎていく夏を惜しむかのように、いつまでも踊っていたい気分でした。

ボランティア

虹っ子…調理実習と喫茶の奉仕。

生花・書道・茶道・民謡…クラブ活動として専門のボランティアによる実施。

たんぽぽ…誕生会の日にペープサートを中心にしたレクリエーションの実施。

ひまわり…利用者と共に作業活動の実施。

香寺高校…レクリエーション・草引き等の奉仕活動を実施。

いちかわ園

4/29 兵庫県民親善ゲートボール大会 1チーム参加

5/14 市川町民生委員生花・作業奉仕

5/22・7/24 市川高校茶道ボランティア

市川高校の家庭科の教諭と女子生徒が、いちかわ園に手作りのお菓子を持参して、お茶会を開催。

5/26 市川ひまわり運動会

快晴のもと、市川町の老人会・婦人会の方と競技を通して交流できました。

5/27 増田先生言調聴覚指導

名古屋学院大学の増田教授が来られ、音楽療法を通じた全体でのセッションと個別言調指導を実施されています。全体セッションには地域の障害を持たれている方も参加されました。午後は、香翠寮で実施されています。

6/9 中播磨手をつなぐ福祉大会 アトラクション参加

6/20 鶴居小学校3年生との交流・6/28 鶴居小まつり招待

鶴居小学校3年生が、招待状を持って来園されました。いちかわ園で事前に作業等の交流をして、顔合わせをし、鶴居小まつりに招待していただきました。

7/25 鶴居中学校体験交流会 生徒22名

7/31 市川太鼓 日車衆太鼓交流

8/1・2 神崎高校 福祉実習13名

8/8 自治会お菓子作り

(市川高校茶道ボランティアと一緒に)

8/21 香寺町ボランティア ピアノ・ギター演奏

8/26～9/7 常盤短期大学生2名実習

9/7 いちかわ園ふれあい感謝のつどい

今年も地域の方々の多くの協力のもと、盛大に実施出来ました。いちかわ園の20周年の記念行事として始まったこの行事も8回を迎え地域の恒例行事として定着してきたように思えます。

ボランティア

毎月第③水曜 スポーツクラブ 市川町ゲートボール協会の方の指導

毎月第④水曜 文化クラブ 生花・書道の専門のボランティアによる指導

毎月1回 ボランティア若草会の方の作業奉仕

ゆめさき分園

5/15 トライやるウィーク 鹿野中

利用者と業者作業を中心に活動していただきました。時間と共に楽しそうに話がはずんでいたのが印象的でした。

6/21 町ぐるみ検診(夢前町保健センター)

地域住民の方にご協力頂き無事実施することが出来ました。

8/4 大掃除&バーベキュー大会

保護者の協力のもと、分園の普段手の行き届かない箇所の掃除をしました。終了後保護者主催のバーベキュー大会・焼きそば・焼き肉等をいただきました。食後はビンゴゲームを楽しみました。開設以来保護者会の取り組みとして実施している。

ボランティア

高川原さん 月2回の作業奉仕を実施。

障害児を育てる親の声から II

（障害児の親になってみてわかったこと）

・世間、社会の冷たさと優しさ。言葉では言い表せないさまざまな子育ての大変さ。

・特別な目で見える人が多く、日本はあまりにも健常者、障害者と区別している世の中であるということ。

・障害児の親という言葉はあまり好きじゃないけど、育児とは自分の力を試されていることだと、つくづく思っている。人がいかに狭い価値観で生きているかということ。

・皆、人に言えない悩みをもっていること。それぞれ障害の種類、程度が異なるため。

・自分自身が偏見のかたまりであったということの驚き。社会の仕組みがはつきり見えるようになってきた。

・障害を持っていても、当たり前のように社会の中で生きていってほしいと、どの親も願っていること。

・いろいろな出会いがあり、怒ったり、泣いたり、笑ったり、とありましたが、勉強さ

せてもらったり、人の痛みが少しわかるようになった気がします。

・身体は健康だが、知的障害がある子どもに対して、世間は冷たい。

・その立場にならなければわからないんだろな、とは思うが結局は皆「ひとごと」で「自分の子が障害を持っていてなくてよかった」と思っているのだなあと痛感した。

・障害児がいて、初めて障害児のことについて注意するようになる。我が子が健常児であつたら、障害児のことについては全然眼中にないと思う。気持ちを開きかけたために、まわりの人たちの温かい心をみれなかった。我が子のありのままの姿を見せることにより、まわりの人たちと深いつながりができました。歩いていると必ず誰かから声をかけてもらえます。しあわせ！

「障害児の親から健常児の親へ」
宋鷲書房から

香翠寮 『翠太鼓』発足

利用者全員の強いねがいと、情緒の安定を目的に今年の5月1日より発足いたしました。太鼓の購入については、保護者会の好意により、購入することが出来ました。

当初は、太鼓をたたいて楽しむというコンセプトでありましたが、何か曲が出来ないかという思いで、福崎太鼓に指導を依頼し、職員も学ぶべく福崎太鼓の練習に参加させていただきました。そして、香翠寮祭りにて翠太鼓のお披露目ができ、そのときの感動が、今の練習の励みとなっております。

今後、福崎太鼓の指導を受け太鼓の音色が、聞く人の心にひびきわたるよう地域へとはばたいていきたいと思っております。

最後になりましたが、保護者会の皆様に厚く御礼申し上げます。



いちかわ園・ゆめさき分園 嘱託医の交替

【就任】（9月1日付け）
増元 康紀（姫路北病院）
【退任】（8月31日付け）
長岡研太郎（姫路北病院）



編集後記

今回の中播福祉会広報は支援費制度の概要を中心に編集しました。

表紙の写真にあります、香翠寮盆踊り大会、いちかわ園ふれあい感謝のつどいには、地域の方々はじめボランティアの皆様には絶大なご協力を賜りまして、ありがとうございます。

最後になりましたが、お忙しい中、「ともに歩む」（第7号）の発刊にあたり寄稿いただきました方々に厚くお礼申し上げます。